

採用情報

採用までのフロー

● 人事委員会

● 任命権者

受験案内公表

受験申込み

第1次・
第2次試験

最終合格発表

内定通知

意向確認・
健康診断

採用

※県職員の例（警察官、警察職員及び小中学校職員については一部異なります。）

愛知県が行う主な試験（予定）

	試験・選考の種類		程度
新卒等 採用	職員	第1回	大卒程度
		高専卒等	短大卒程度
		第2回	高卒程度
	警察職員	第1回	大卒程度
		第2回	高卒程度
	小中学校職員	—	高卒程度
	警察官	(A) 第1回・第2回	大卒程度
		(B) 第1回・第2回	高卒程度
経験者 採用	職員	民間企業等 職務経験者	大卒程度
		国家公務員総合職等 行政実務経験者	大卒程度
	警察職員	民間企業等 職務経験者	大卒程度
社会人 採用	職員	社会人 ※学歴・職歴不問	高卒程度
障害者 採用	職員	事務	高卒程度
		専門 ※身体障害者	大卒程度 高卒程度
	警察職員	事務	高卒程度
	小中学校職員	事務	高卒程度
		事務	高卒程度

(注1) 受験資格及び試験日程は試験ごとに公表する受験案内で確認してください。
(注2) 年度によっては実施しない場合もあります。

Q & A

Q. インターンシップの制度はありますか

A. 毎年6月頃に参加者の募集を行っています（応募者多数の場合は書類選考の上、参加者を決定）。なお、あくまで就業体験であり、インターンシップへの参加の有無が採用試験において考慮されることはありません。

Q. 業務内容や採用試験について詳しく知りたいのですが、説明会などを開催していますか

A. 愛知県職員の仕事に興味のある方を対象とした「愛知県職員ガイダンス」を8月頃に開催しています。また、採用試験の受験を検討している方を対象に「採用試験説明会」を3月頃に開催しています。その他、大学が主催する説明会、民間企業が主催する合同企業説明会などにも参加しています。詳しくは愛知県職員採用情報Webページをご覧ください。

Q. 第1回試験の試験区分「行政Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」や「土木Ⅰ・Ⅱ」は、どのような違いがありますか

A. 試験の内容や日程が異なりますが、採用後の配属先や待遇に差異はありません。

● 試験内容

	行政Ⅰ	行政Ⅱ	行政Ⅲ	土木Ⅰ	土木Ⅱ
第1次試験	教養試験	教養試験	SPI3 (テストセンター方式)	教養試験	SPI3 (テストセンター方式)
	専門試験 (法律・経済等)	論文試験	—	—	—
第2次試験	論文試験	集団討論	論文試験	論文試験	論文試験
	個別面接	個別面接	個別面接 (アビール審査を含む)	個別面接	個別面接 (専門性審査を含む)
	適性試験	適性試験	適性試験	専門試験	—

(注) 「土木Ⅱ」の新設に伴い、従来の試験区分「土木」の名称を「土木Ⅰ」に変更

● 試験日程

	行政Ⅰ・Ⅱ/土木Ⅰ	行政Ⅲ/土木Ⅱ
受験案内発表	3月下旬	1月下旬
申込受付期間	3月下旬～4月中旬	3月上旬～中旬
第1次試験	5月中下旬	3月下旬～4月上旬
第2次試験	6月中下旬～7月中下旬	4月下旬～5月下旬
最終合格発表	7月下旬～8月上旬	6月上旬

Q. 過去に出題した問題は公開されていますか

A. 教養試験・専門試験で出題するのと同程度の「例題」と、論文（作文）・集団討論の課題を愛知県職員採用情報Webページで公開しています。

愛知県職員募集 2026

Aichi Prefecture
Recruiting Guide

あなたが
つくる
あいちの
未来



愛知県人事委員会事務局職員課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

(愛知県庁西庁舎5階)

電話：052-954-6822 (ダイヤルイン)

E-mail: jinji@pref.aichi.lg.jp

愛知県職員採用情報 検索

愛知県職員採用情報 公式Webサイト

<https://www.pref.aichi.jp/jinji/syokuin/>



愛知県人事委員会 公式X (旧Twitter)

https://x.com/aichi_jinji



発行 2026年1月

あなたがつくる あいちの未来

目指す職員像

- 1

自律的で、スピーディーかつスマートに行動する職員

県民ニーズを的確に把握し、幅広い視野と高い課題解決能力を備え、自ら考え、スピード感を持って、県民目線を大切にしながら効率的・効果的に行動する職員
- 2

行政のプロ意識と高い専門能力を持って行動する職員

公務を担う責任感と使命感を備え、行政のプロ意識と高い専門能力を持って行動する職員
- 3

サステナブルな県庁を目指し、組織一体となって、いきいきと活躍する職員

将来を見据え、安定的かつ持続的に県民サービスを提供できるよう、組織の一員としての役割を認識し、仕事と人づくりに取り組み、いきいきと活躍する職員



知事メッセージ

愛知県は、自動車産業を中心とした強固な経済基盤を活かし、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」の実現を目指しています。若者・女性・高齢者・障害者など多様な人材の活躍を促し、地域に好循環を生み出すことで、日本の未来を築いていきます。こうした未来の実現に向けた大型プロジェクトや幅広い分野での取組を通じて、「やりがい」とともに自らの成長を実感できる、それが愛知県職員という仕事です。是非、愛知の未来と一緒につくっていきましょう。

愛知県知事 大村 秀章



愛知県の最先端プロジェクトの一例

愛知県では、脱炭素社会の実現と持続可能な地域づくりに向けて、エネルギーや交通分野を中心に最先端のプロジェクトに取り組んでいます。これらの取組は、SDGsの達成に向け、革新的な技術や新しい仕組みの導入を通じて、環境負荷の低減と暮らしの質の向上を図るものです。以下に紹介する3つのプロジェクトは、未来の社会を支える重要な挑戦の一端です。

水素で進める 脱炭素社会づくり



水素の社会実装に向けて、水素・アンモニアのサプライチェーン構築を図るとともに、工場や発電所、物流など、県内の様々な分野での水素・アンモニアの活用を推進し、カーボンニュートラルと産業競争力向上の実現を目指します。

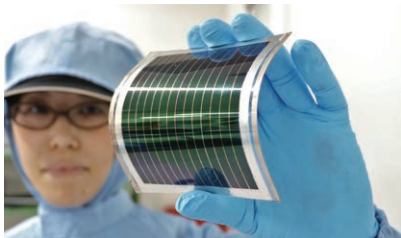


画像提供：日野自動車株式会社
トヨタ自動車㈱と日野自動車㈱が共同開発 燃料電池大型トラック

次世代型太陽電池で CO₂削減に挑戦中



軽量で柔軟な次世代型太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」を公共施設等に実証導入し、壁面や耐荷重の低い屋根など従来設置が難しかった場所への太陽光発電の拡大を図り、再生可能エネルギーの導入促進とCO₂排出削減を進めています。



次世代モビリティで 暮らしを変える



空飛ぶクルマやドローンなどの次世代空モビリティと、自動運転車などの「陸」モビリティを連携させた新たな交通モデル「空と道がつながる愛知モデル2030」の構築を進め、物流・人流・災害対応など多分野での活用と社会実装を目指しています。



©県Prodrone

配属先

(組織名称は2025年4月現在)

知 事 部 局																
政 策 企 画 局	総 務 局	人 事 局	防 災 安 全 局	県 民 文 化 局	環 境 局	福 祉 局	保 健 医 療 局	経 済 産 業 局	労 働 局	観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 局	農 業 水 産 局	農 林 基 盤 局	建 設 局	都 市 ・ 交 通 局	建 築 局	ス ポ ー ツ 局
会 計 局																
企 業 局																
病 院 事 業 局																
議 会 事 務 局																
教 育 委 員 会 事 務 局																
警 察 本 部																

この他にも選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、人事委員会事務局、労働委員会事務局、収用委員会事務局などがあります。

職 種 紹 介



行政Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ／事務

県全体の計画や地域づくりの企画立案、県税の賦課徴収、予算・経理・人事を始めとする内部管理などの幅広い業務に従事します。



ICT

ICTを活用した施策の企画・提案、業務の効率化・システムの最適化の推進、職員のICT活用能力の向上などの業務に従事します。



司書

県図書館などで資料・情報の収集、保存、提供、利用者サービスの企画、市町村図書館への資料提供などの業務に従事します。



心理

主に児童や障害者に対して、臨床心理学の専門知識を活かし、心理アセスメント、相談・指導、障害に関する啓発活動などの業務に従事します。



社会福祉

福祉施策の企画・運営、生活保護法などに基づく相談対応、虐待や非行への支援、医療療育総合センターでの生活指導などの業務に従事します。



薬剤師

薬局や医薬品製造業などへの立入検査・指導、食品・環境衛生施設の監視指導、感染症対策、県立病院での調剤・服薬指導などの業務に従事します。



電気

産業技術の試験研究、企業への技術指導・相談、県庁舎の電気設備などの設計施工・運用・維持管理などの業務に従事します。



機械

産業技術の試験研究、企業への技術指導・相談、県庁舎の機械設備などの設計施工・運用・維持管理などの業務に従事します。



化学

環境関連法令に基づく規制指導、環境汚染物質の測定・分析、大気や水質の環境対策、産業技術支援、水質検査などの業務に従事します。



環境工学

環境関連法令に基づく規制指導、環境計画の策定、地球温暖化対策、生物多様性保全、環境汚染物質の測定・分析などの業務に従事します。



無機材料

ファインセラミックスから窯業に至る幅広い無機材料・金属材料に関する依頼試験、研究、企業に対する技術指導・相談などの業務に従事します。



農学

農業振興のための指導や農業経営の改善、農業技術の普及、農業後継者の育成、試験研究などの業務に従事します。



畜産

畜産業の振興のため、家畜の生産性向上、畜産環境対策、畜産物の品質向上や優良種畜の増殖育成、試験研究などの業務に従事します。



水産

水産業振興の企画、漁場環境保全、漁港整備、水産業協同組合の指導、漁場調整、水産技術の改良・普及、試験研究などの業務に従事します。



林学

林業・木材産業の振興、県産木材利用促進、森林整備、治山事業、緑化推進、試験研究などの業務に従事します。



農業土木

農地や用排水路、用排水機場などの生産基盤整備に向けた調査・設計・施工管理のほか、農村地域の環境保全や防災対策などの業務に従事します。



土木Ⅰ・Ⅱ

道路・港湾・企業用地や公園・上下水道の企画・建設・維持管理、治水・砂防など、県土の基盤づくりに関する幅広い業務に従事します。



建築

住宅施策の企画・調整、高齢者向け住宅整備、建築物の審査、県有施設の設計・施工監理・検査及び維持保全などの業務に従事します。



警察官

誰もが安心して暮らせる安全な街づくりを目指し、公共の安全と秩序の維持のために、犯罪予防や捜査、交通取締りなどの業務に従事します。



行政Ⅰ・Ⅱ／事務 〔警察職員〕

警察の業務に関する企画立案や予算の編成、警察施設の管理、各種警察装備品の調達、情報管理、会計事務などの業務に従事します。



事務 〔小中学校職員〕

名古屋市を除く県内の市町村立小・中・特別支援学校に配属され、庶務・人事・給与・旅費・福利厚生・経理などの業務に従事します。

(注1) 年度によっては募集しない職種もあります。募集する職種は、試験ごとに公表する受験案内で確認してください。
(注2) 行政区分(行政Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ／事務)、土木区分(土木Ⅰ・Ⅱ)は、試験の内容や日程が異なりますが、採用後の配属先や待遇に差異はありません。
(注3) 愛知県公立学校教員採用選考試験は、愛知県教育委員会が実施しています。

JOB DESCRIPTION

職員インタビュー

多種多様な職種の中にあなたが活躍できる未来がきっと見つかる。

先輩職員の日や仕事の魅力は、
こちらからチェック！



行政Ⅱ

都市・交通局 交通対策課 リニア事業推進室 橋本 さん

国や事業者、県民の方々を巻き込み
リニア開業に向けた機運を高めていく。

リニア中央新幹線の早期整備や、開業による社会・経済への波及効果を活かすための取組を行っています。私は近隣自治体との連絡会議や講演会をはじめとした広報啓発を担当していて、具体的な業務として、講演を依頼する大学教授との日程調整や講演内容の設定を任されています。リニアがある未来をみんなで盛り上げていくことが役目です。



社会福祉

福祉局 児童家庭課 田嶋 さん

大学訪問やイベントを通じて
児童相談センターで働く魅力を発信。

県内の児童相談センターを管轄するグループに所属し、児童虐待に関するあらゆる業務を担当しています。児童相談センターの仕事の魅力を発信するために、大学を訪問して学生向けに説明会を開催したり、仕事を体験できるイベントを企画することもあります。児童相談センターで得た経験を伝えながら、児童相談センターの職員として働く魅力を伝えています。



化学

経済産業局 水素社会実装推進課 森 さん

脱炭素社会の実現のために
環境に優しいモノづくりをサポート。

水素等の利活用を促進する一環として、県の試験研究機関へ脱炭素工業炉を設置する上での課題等を検討する調査事業を担当しています。さらに、脱炭素工業炉の技術課題について、大学や民間企業の委員の方々と構成された研究会を開催し、関係者の間で議論することで本県産業の高度化推進に努めています。様々な観点から脱炭素社会の実現を推進することが私たちの役目です。



土木

東三河建設事務所 維持管理課 仙田 さん

道路・河川・砂防・公園・上下水道など
さまざまな分野のエキスパートになれる。

道路の許認可に関する技術審査、道路施設の点検業務の発注など、道路の維持管理に必要な業務を担当しています。ほかにも交通量の調査や道路照明の修繕、大型車両が通行可能な道路かどうかの審査など、業務内容は多岐にわたります。道路に限らず、河川・砂防・公園・上下水道など、さまざまな分野を経験できることが土木職の魅力です。

入庁1年目から3年目までの
職員に聞いた

愛知県職員の“ホンネ”を大調査



Q1

愛知県職員になってよかった
と思いますか。

そう思う、
まあそう思う



96%

9割以上の方が「そう思う、まあそう思う」と回答。理由は「さまざまな研修により、スキルアップができる」「責任ある仕事にやりがいを感じる」などの意見がありました。このほか、「時差勤務や休暇が取りやすく多様な働き方ができる環境」「職場の雰囲気が良いから」という声もあり安心して仕事ができると感じている職員も多いようです。

Q2

配属された所属は、上司や先輩に
相談しやすい環境だと思いますか。

そう思う、
まあそう思う



96%

「風通しが良く年齢が離れている上司でも距離感が近く相談しやすい」「根拠を示して丁寧に教えてもらえるので分かりやすい」「トレーナーをしてくれた先輩職員はじめ優しい職員が多い」といった回答から、分からないことを上司や先輩に聞きやすい環境であり、若手職員を温かく見守っている様子が伝わってきます。また、「年齢が近い職員が多く気軽に話せる」という年齢が近いからこそ同じ立場で共感し、的確なアドバイスをくれるという声もありました。

Q3

入庁する前と入庁した後で、
愛知県庁のイメージは変わりましたか。

変わらない
28%

変わった
72%



変わったと思う理由の一部

- 新規採用であっても責任ある仕事を任されたことに驚いた
- 堅いイメージがあったが実際は気軽に話しかけやすい人が多い
- 親身になって相談に乗ってくれる人が多かったこと
- 結果以上に過程を大切にする真面目な人が多い点

Q4

直近1カ月の残業時間は
どのくらいですか。

20時間以上
19%

10~20時間
未満
22%

0~10時間
未満
59%



Q5

仕事とプライベートの両立は
できていると思いますか。

そう思う、
まあそう思う



92%

「休暇を積極的に取得できるためプライベートも充実できる」「時差勤務もでき柔軟に働きやすい」「時期によっては忙しく残業もあるが基本的には定時で帰れるため」「上司が積極的に休暇を取得するので若手も取りやすい」などの意見がありました。愛知県では、多様な働き方に関する職員の理解が進んでいて、働き方改革にも積極的に取り組んでいることが伝わります。

Q6

現在の仕事にやりがいを感じ
ていますか。

そう感じる、
まあそう感じる



86%

そう感じる、まあそう感じる理由の一部

- 毎日新しい発見があり誰かの役に立てているという実感を持てる
- 責任ある仕事は大変だが上司に相談に乗ってもらいながら取り組むことができている
- 民間では経験できない仕事であり、やりがいを感じる
- 幅広い仕事を任せてもらい、日々成長とやりがいを感じている

勤務条件など

勤務条件や人事制度などの
詳しい情報はコチラからチェック！



勤務時間・休日・休暇

【勤務時間】

月～金
8時45分～17時30分
休憩時間 12時～13時
※所属や職務によって異なる場合があります。

1カ月あたりの時間外勤務
平均**15.6時間** (2024年度)

【休日】

土日(完全週休2日制)、
祝日、年末年始

年間約**120日**



【主な休暇制度】

- ・年次有給休暇 年間20日
1時間単位で取得可能
- ・夏季休暇 年間6日

年次有給休暇平均取得日数
15.7日 (2024年度)

多様で柔軟な働き方



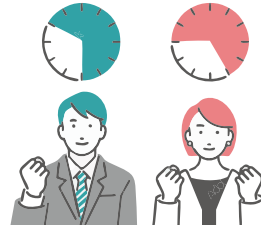
時差勤務

始業時間を15分単位で、
最大1時間15分前後できます。
(計10パターン)



在宅勤務

1週間のうち最大4回まで、
1時間単位で自宅等で仕事ができます。



フレックスタイム制

1日の勤務時間を柔軟に設定でき、
いわゆる週休3日という働き方も可能です。

給与

【初任給】(給料+地域手当)

試験の種類	学歴	初任給(月給)
第1回試験	大学卒	約263,800円
第2回試験	高校卒	約229,500円

※職歴などがある場合は、一定の方法により加算されることがあります。

【期末・勤勉手当】

1年間で**4.65月分**支給

職歴があるAさん



大学卒業後、民間企業等で
8年勤務した後、転職し30歳で
県庁に入庁。

初任給は約**304,700円**

+

通勤手当は原則全額支給
(新幹線・自家用車通勤は支給上限あり)

住居手当は最大**28,000円**

子どもがいる場合は
扶養手当も(条件あり)

Interview

「残業って多い?」「休みはちゃんと取れる?」
そんな疑問に若手職員が本音で答えます。
働き方や制度の活用、職場の雰囲気など、
リアルな声を紹介します。



子育て支援制度(主なもの)

	妊娠	出産	1歳	2歳	3歳
女性職員		出産休暇(有給) 出産予定日前8週間～出産の日後8週間			
男性職員		妻の出産補助休暇(有給) 妻の出産に係る入院等の日から出産の日後2週間までの2日以内			
		育児参加休暇(有給) 出産予定日前8週間から出産の日後1年間までの5日以内			
		産後パパ育休(無給) 出産から57日以内に2回取得可能 ※育児休業手当金の支給あり			
男女共通		育児休業(無給) 3歳まで ※子どもが1歳までは育児休業手当金の支給あり			
		育児時間(有給) 1歳6か月まで: 1日につき1時間以内を2回又は1日につき2時間以内を1回			
		部分休業(勤務しない時間分の給料を減額) 小学校就学前まで: 1日につき2時間以内又は1年につき77時間30分(10日相当)以内			
		育児短時間勤務(勤務時間に応じた給料を支給) 小学校就学前まで: 一定の勤務形態の中から希望する時間帯に勤務できる 例: 1日3時間55分×5日=1週当たり19時間35分勤務など			

このほか、
・妊産婦の保健指導・健康診査休暇
・妊娠障害休暇
・妊娠中の女性職員の通勤緩和休暇
・出生サポート休暇(不妊治療)
・子の看護等休暇
・子の参観休暇などがあります。

人事制度

昇任の流れ(県職員)

一般的には採用10年目(職歴等が加算される場合あり)で主任級へ昇任し、その後は本人の能力と実績により昇任します。※昇任試験は実施していません。

主事・
技師級

主任級

主査級

課長補佐級

課長級

部長級

局長級



Interview

未来の自分を描くヒントになるよう、キャリアを重ねた職員が
これまでのキャリアや仕事への想いを語っています。



人材育成制度・研修制度

幅広い業務経験や専門性の習得を支える制度に加え、研修やOJT、自己啓発支援など、スキルアップを支援する仕組みが整っています。

多様な研修制度を通じて、職員が着実にスキルを伸ばせる環境を整えています。

トレーナー制度
サポーター制度

若手職員の
ジョブローテーション

やりたい仕事挑戦制度
極めたい分野挑戦制度

民間企業・
大学院への派遣研修



Interview

新人職員とトレーナーが、育成の現場で感じたことや
互いの成長について語っています。

